

自立活動 個別の指導計画（弱視特別支援学級）

記入日 令和〇〇年〇〇月〇〇日

氏名・学年	〇〇 〇〇（〇〇小学校 6年 男）	本人の願い	・友達と一緒に楽しく遊んだり、勉強したりしたい。		記入者	〇〇 〇〇
保護者の願い	<ul style="list-style-type: none"> ・他の児童とかかわりを深め学校生活を楽しんでほしい。 ・一つ一つ丁寧に読み書きなどができるようになってほしい。 					
長期目標	<ul style="list-style-type: none"> ・単眼鏡を使用し、じっくり丁寧に見ることができる。 ・他の児童とかかわりを深め、集団での活動に意欲的に参加できる。 					
区 分	児童の実態	短期目標	指導内容・指導方法（手立て）	評 価		
健康の保持						
心理的な安定	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の障害の状態について理解しようとしているが、見えにくいことで、初めての場所や活動になると見通しがもてず不安になり、消極的になることがある。(3)(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ・周りの人に聞くなどして、場所や場面の状況を理解し、自分の行動の仕方を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に周囲の状況や活動内容について説明し、状況を把握するための時間を確保する。また、学習する場所に本人が分かる目印をつけ、安心して活動できるようにする。 ・周囲の状況や変化について、必要な情報を得るために自分から教員や友達に尋ねることができるよう、ロールプレイを行うなど質問の仕方を練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に活動内容を説明したり、前時と同じ状況を設定したりすることで本人の安心感につながるようである。また、自立活動の時間でロールプレイをしたことが、交流学級での学習につながり、周囲の状況がわからないときに、近くの友達に尋ねる姿が見られるようになってきた。 		
人間関係の形成						
環境の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・触覚や嗅覚、色などを手掛かりに、校舎内の自分の位置を把握することができる。 ・単眼鏡を持っているが、必要な時に使用することができていない。(3) ・細かい部分に注目して正確に見取ることが難しいが、文字や図を見て理解ができる。(3) 	<ul style="list-style-type: none"> ・単眼鏡を使用し正確に見取ったり、読んだりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚障害特別支援学校から継続的な指導を受けた内容をもとに、本人の興味・関心のあるものを観察したりすることで、対象を見る力を育てる。単眼鏡を使用した間違い探しや点つなぎなどに取り組む。板書の内容を単眼鏡で読み、正確に書き写したりする練習を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単眼鏡を進んで使用することにはまだ課題が残るが、単眼鏡を使い、見えるという経験をすることで、じっくり見ることができだし、文章の読み間違いが少なくなった。単眼鏡の使用について、交流学級担任との共通認識が必要である。 		
身体の動き						
コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン等ICT機器の操作に興味・関心があるが、文書の作成に機器を活用することができていない。(4) 	<ul style="list-style-type: none"> ・読みやすい文書を作成するために、ICT機器を活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分にとって読みやすい文字サイズや行間、コントラスト等を知る。 ・パソコンやタブレット端末を用いて、教員と一緒に拡大機能や編集機能の操作ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンやタブレット端末の操作に慣れ、拡大機能を用いることで自分にとって読みやすい文書を作成することができるようになった。また、タブレット使用することで、板書をタブレット端末で写真に撮り、自分で拡大して見ることができるようになった。 		

※自立活動の区分・項目は、全て記入する必要はなく、児童生徒の実態に応じて選択します。

※該当する自立活動の項目を（ ）内に表しています。

教科等	児童の実態	短期目標	指導内容・指導方法（手立て）	評価
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・物語が好きで、登場人物の心情を読み取ることができる。 ・教科書の音読では、文章を目で追いながら音読することが苦手である。 ・漢字の書き取りに時間がかかる。点かたりない等、正確に書けないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スムーズに読んだり、漢字を正確に書いたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の見えやすい色や大きさを確認し、漢字の間違いやすい部分の色を変えたり、拡大コピーをししたりする等の提示の工夫を行う。 ・見えにくいときには、自立活動の時間に学習した単眼鏡の使い方を生かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・40パーセント拡大した小学6年生の教科書は、スムーズに読むことができるようになった。 ・漢字の細かい部分は、単眼鏡を使うことで分かりやすくなり、注意して書くことができるようになった。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・地図では、それぞれの要素間の位置関係をつかむことが難しく、苦手意識をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地図を見て、必要な情報をつかむことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・注目してほしい部分の色を変えたり、線を太くしたりする等の提示の工夫を行う。 ・見えにくいときには、自立活動の時間に学習した単眼鏡の使い方を生かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・注目すべき部分の色を変えたり、単眼鏡を使ったりすることで地図が見やすくなり、学習した山や川等の名前と位置をほぼ覚えることができた。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・計算が得意である。 ・表やグラフから必要な情報を見つけ出したり、読み取ったりすることに苦手意識をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表やグラフの読み取りができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見えにくいときには、自立活動の時間に学習した単眼鏡の使い方を生かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフの縦軸や横軸を強調したり、単眼鏡を使ったりすることで、グラフが何を表しているかがわかり、正確に読み取ることができるようになってきた。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・観察や実験で、様子をとらえることに苦手意識をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察や実験で必要な情報をとらえることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・触って確認したり、変化の様子をにおいて確認したりと、他の感覚を活用する。 ・自立活動の時間に学習した単眼鏡の使い方や、タブレット端末の拡大機能を生かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・根、茎、葉を触って観察したり、タブレット端末で写真を撮り、拡大することで、植物のつくりの理解につながった。細かい部分は、単眼鏡を使って見ることもできるようになってきた。
その他 特記事項	<p>テストについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全てのテスト用紙は、拡大版を作成している。(A4判→A3判、B5判→B4判) ・読み取りに時間がかかるため、実施時間については、他の児童の1.3倍の時間を確保し別室で受験している。 ・問題用紙の右上に28ポイント程度の大きさでページ番号をつける。 			

※各教科については、児童生徒の実態に応じて選択します。